

## 週報

## 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年						平成30年																	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~2日	12月 ~9日	12月 ~16日	12月 ~23日	12月 ~30日		
カンピロバクター	142	87	98	161	109	84	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	32	21	17	18 (23)	16		
病原性大腸菌	206	161	102	112	73	110	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	33	32	33	24 (34)	23		
腸管出血性大腸菌	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0		
サルモネラ	18	29	9	12	16	3	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	2	1	4	3 (4)	2		
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	17	24	24	9	12	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	4	3	5	2 (6)	1		
黄色ブドウ球菌 MRSA	27	16	22	19	15	16	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	4	6	4	0 (1)	7		
腸炎ヒブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0		
その他	9	11	5	14	3	1	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	1	1	1	0	0		
ロタウイルス	1	1	0	0	0	0	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
アデノウイルス	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0		
ノロウイルス	8	2	1	3	7	21	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	2	4	9	3	5		

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

### 広島県感染症発生動向週報

平成30年第52週(12月24日~12月30日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11	2	1		1	5		2
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類全数	14	後天性免疫不全症候群	2							2
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4			2		2		
		侵襲性肺炎球菌感染症	5					4		1
		梅毒	1							1
		百日咳	2		2					

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

## 定点・全数把握疾患週報【広島市】(第52週 12/24～12/30)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

## 1. インフルエンザ

定点当たり4.15人と、前週と比べてやや増加しました。インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。

ワクチン接種、流水・石けんによる手洗いや咳エチケットを励行するなどインフルエンザ対策を徹底し、症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

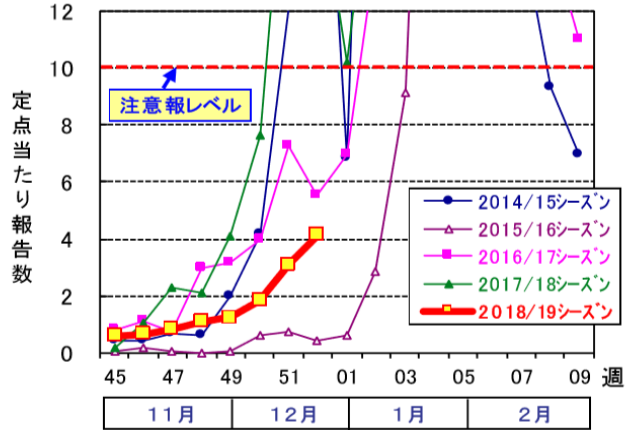
## 2. 感染性胃腸炎

定点当たり11.7人の報告がありました。

また、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生も1件報告されており、集団生活の場では、特に注意が必要です。

流水・石けんによる手洗いを励行し、便・吐物を適切に処理するなど、感染の予防および拡大防止対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



【参考】厚生労働省 インフルエンザ(総合ページ)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/)

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
														増減	微増減		
小児科	インフルエンザ	141	4.15	9.76		◇	小児科 眼科 基幹	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.54			↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
	咽頭結膜熱	10	0.42	0.41				RSウイルス感染症	10	0.42	0.84			↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	2.25	1.84		↗		急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03			↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	感染性胃腸炎	281	11.71	11.60		↘		流行性角結膜炎	5	0.63	0.53			↔	↔	ほとんど増減なし	
	水痘	13	0.54	1.15		◇		細菌性髄膜炎	-	-	-						
	手足口病	3	0.13	0.47				無菌性髄膜炎	-	-	0.03						
	伝染性紅斑	6	0.25	0.32				マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.17						
	突発性発しん	6	0.25	0.37				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-						
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.03				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14							
	フィン	インフルエンザ	141	4.15	9.76			◇									

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

## ■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	142	男性(30歳代)、男性(70歳代)、男性(80歳代)、女性(80歳代)、男性(90歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	4	17	男性(10歳未満)・2人、男性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人

## ■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.5)	7	男	2018/11/20	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入のみ掲載